



お母さんになったら

(健康管理)11月号

「触ってはいけない」「してはいけない」と何度も言い聞かせているのに約束が守れないのですが、どうしたらいいのでしょうか？

社会のルールはもちろん社会的なモラルやマナーなど親には親なりの価値判断や基準があります。ルールや“約束ごと”を教えるのはそうした親の価値観を伝えていくことでもあります。しかし、子どもは発達からいって守るのが無理な約束もあります。子どもは好奇心のかたまりだからです。大人からダメと言われて一回で守れる子どもがいたらその方が驚きではないでしょうか。

3歳児はもちろん、5～6歳児であっても一回ですぐに大人に言われたことを守るのは難しいと思います。4歳を過ぎるころになるととたんに言葉も豊富になり、ときには口答えするようになるので、大人は相手が子どもであることをつい忘れてしまいがちですが、相手はまだ本当に子どもなのです。

大人でも何度も同じ失敗を繰り返すことはありますし、子どももそうした経験をたくさん積み重ねて約束ごとがわかってくるのだと思います。

約束やルールを教えるときは、一方的、絶対的な約束ではなく、子どもができそうな範囲での約束からはじめるといいでしょう。それは同時に、この約束を守るのは自分自身であるという“責任”の範囲を伝えていくことにもなります。子どもはこうやって、自分で守るべき約束、つまり責任の範囲を広げていくのです。また、「人の大事なものは触ってはダメ」という抽象的ないい方ではなく、「〇〇は触ったらダメ！」と子どもにわかるようにはっきりと短く具体的に伝えるのもコツの一つです。また、子どもに伝えるときは真剣に伝えることがとても大切です。

気長に子どもの成長を見守っていきましょう。

